

### 【インド農村開発インターンシップ研修のご案内】

9月1日～15日に、学生向けのインド農村開発インターンシップ研修が行われます。費用は研修費・宿泊費・食費・空港送迎・アーシャ賛助会員費・諸税込で80000円です。(航空券代・保険代・ビザ代・日本国内の旅費は各自で負担)。

昨年は東京農工大学・関西学院大学・弘前大学・宇都宮大学など農業や国際関係学部の大学生・院生11名が参加し、好評だったそうです。一部の大学では単位認定もされているようです。

問い合わせ・申し込みは、NPO法人アーシャ=アジアの農民と歩む会  
〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢83-17

Tel 0287-47-7840 Email [info@ashaasia.org](mailto:info@ashaasia.org) <http://ashaasia.org/>

(担当：平野さん・朝比奈さん)まで。

本日の奨励者三浦先生は本学の卒業生で、インドのサンヒッギンボトム農工大学にあるマキノスクール(継続教育学部)の学部長をされています。マキノスクールとは、農民のためのプログラムを実施して、農村開発事業を行っているところです。そしてNPO法人アーシャとは、マキノスクールを支援するために設立されたもので、日本人スタッフ・専門家の派遣やスタディーツアーの運営などを行っています。現在、持続可能な農業・農村開発・女性の地位向上・母子保健・収入向上などのプロジェクトを現地の人たちと共に進めているということです。

このプロジェクトの活動場所はインドのウッタールプラディッシュ州プーラグラージ県ナイニサム・ヒッギンボトム農工大学マキノスクールと近隣農村で、研修目的は、農村開発プロジェクトの実習・見学・調査・講義・ディスカッション等を通して、持続的な農村開発や国際協力への理解を深めることです。

### 【昼食会のお知らせ】

礼拝終了後、三浦先生を囲んで昼食会があります。学生さんもお弁当持参で遠慮なくご参加ください。場所は中央館の8F会議室です。

### 【次回の大学礼拝】2019年6月25日(火)10時40分

KNOW GOSPELのLIVEがあります。KNOW GOSPELは札幌の社会人・学生によるゴスペル・クワイヤです。一緒に歌って踊るのもOKです!

### 【前回の大学礼拝】2019年5月28日(火)10時40分

学生 357名 教職員ほか 10名 合計 367名

## 【大学礼拝週報 2019年度 第9号 (前学期第9号)

2019年6月18日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

### 《大学礼拝》

司 式 高橋優子 (キリスト教学教員)  
奏 楽 佐藤理恵 (野幌教会会員)  
讃美指導 相原晴伴 (循環農学類教員)

前 奏 「強き王なる主をほめまつれ」(ツイップ作曲)  
讃美歌 讃美歌21 475番(あめなるよろこびは)  
聖 書 コリントの信徒への手紙一 12章 12-20節  
祈 り  
さんび 酪農学園大学聖歌隊  
奨 励 「インドで考えたこと～何故インドで働くのか～」  
三浦照男(インド・サンヒッギンボトム農工大学教員)  
報 告  
讃美歌 讃美歌21 567番(ナルドの香油)  
後 奏 「たたえよ、聖霊を」(ハード作曲)

### 【本日の聖書】コリントの信徒への手紙一 12章 12-20節

<sup>12</sup>体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。<sup>13</sup>つまり、ひとつの例によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、皆一つの体となるために洗礼(バプテスマ)を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。<sup>14</sup>体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。<sup>15</sup>足が、「わたしは手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。<sup>16</sup>耳が、「わたしは目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。<sup>17</sup>もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこでおいをかぎますか。<sup>18</sup>そこで神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。<sup>19</sup>すべてが一つの部分になってしまったら、どこに体というものがあるでしょう。<sup>20</sup>だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。